

受講料無料!
受講生募集中!!

福祉サービス実務科



訓練期間

令和8年 **5月13日(水)**～令和8年 **11月10日(火)**

午前9時～午後4時(1日6時間)

※ 土日祝、就職活動日を除く6か月

就職活動日: 求職の申し込みをしたハローワークで就職相談を受ける日

実施会場

福祉の拠点 **こみっと**
委託先: 藤里町社会福祉協議会

山本郡藤里町藤琴字三ツ谷脇
110番1

無料駐車場完備

募集定員

15名

※ 応募が少ないときは、
中止になる場合もあります

申込期間

令和8年

3月13日(金)

)

4月17日(金)

受講料

無料

※ ただし、テキスト代(18,350円程度)、
損害保険料等は受講生負担となります

応募条件

- ・ハローワークに求職の申し込みをしている方で、ハローワークからの受講あつせんを受けられる方
- ・訓練期間の出席と、訓練修了後直ちに就職が可能な健康状態・環境にある人

選考会

日時: 令和8年 **4月24日(金)**
午前 **9時**～

受付: **8時45分**～**8時55分**

会場: 秋田県立鷹巣技術専門学校(下図参照)

方法: 適性検査、面接

※ 筆記用具 及び このリーフレット持参

受講希望の方は、住所を管轄するハローワークへお申し込みください

※ 諸事情により、訓練期間の変更 または 訓練を中止する場合があります

主催 秋田県立鷹巣技術専門学校

〒018-3301 秋田県北秋田市綴子字街道下191
TEL 0186-62-1626 FAX 0186-62-3923
URL <https://www.pref.akita.jp/pages/genre/takasen>

<交通のご案内>

- ・電車 JR 鷹ノ巣駅 または 秋田内陸縦貫鉄道 鷹巣駅 下車、バスで約15分
- ・バス 秋北バス「大館駅前行き」乗車、「鷹巣技術専門学校前」下車、徒歩約5分



福祉サービス実務科 カリキュラム

期 間	6か月(718時間)
仕 上 が り 像	・社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の知識・技術をもとに、高齢者・障害者・難病患者等幅広い分野で即戦力となり、かつ長く働き続けられる人材。 ・他の専門資格(介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員等)も視野にキャリアアップを目指しながら、多様なニーズに応えられる人材。
取 得 目 標 資 格	・介護福祉士実務者研修 ・福祉用具専門相談員研修
就 職 を 想 定 す る 業 種 ・ 職 種	・施設介護員、訪問介護員、訪問入浴介護員、生活支援員、福祉用具専門相談員

訓 練 項 目		訓 練 内 容	時 間
学 科	人間の尊厳と自立	・尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等介護基本理念の理解	6
	社会の理解Ⅰ、Ⅱ	・介護保険制度について ・社会保険制度、障害者総合支援制度の体系や財源・目的と専門職の役割について ・利用者等への助言について	38
	介護の基本Ⅰ、Ⅱ	・介護福祉士制度、自立に向けた介護の考え方、介護福祉士の倫理について ・介護を必要とする人の生活の理解と支援について ・介護実践における連携、介護福祉士の安全について	33
	コミュニケーション技術	・利用者・利用者の家族とのコミュニケーション、相談援助の技術を習得し良好な援助関係の構築及び状況や目的に応じた記録、報告方法	21
	生活支援技術Ⅰ	・介護職としてICFの視点にしたがったアセスメントの行い方 ・人体の構造や機能を理解し、ボディメカニクスを活用するための基礎 ・生活構造や社会資源の有効活用についての理解	21
	介護過程Ⅰ、Ⅱ	・介護過程の基礎的知識、展開、チームアプローチについて ・介護過程一連の流れの確認、介護過程の実践的展開について	56
	発達と老化の理解Ⅰ、Ⅱ	・老化による心理や行動を理解するための視点について ・加齢に伴うさまざまな機能の変化と日常生活への影響について ・発達の定義、段階、課題について ・老年期の発達課題、心理的な課題と支援の留意点について	36
	認知症の理解Ⅰ、Ⅱ	・認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴について ・認知症の人とのかかわり、支援の基本理解 ・代表的な認知症の原因疾患、症状、障害等を医学的な理解 ・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用する方法	36
	障害の理解Ⅰ、Ⅱ	・障害のとらえ方 ・障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴について ・医学的側面からみた障害の理解、障害児、障害者への支援の実践について	36
	こころとからだのしくみⅠ、Ⅱ	・介護に関するからだのしくみの基本 ・人間の基本的欲求、心理、生命の維持・恒常、人体の部位、構造と機能についての理解 ・介護におけるアセスメント、観察のポイント、介護・連携等について	84
	医療的ケア	・医療的ケアを行うための介護職員の倫理観や自立支援の働きかけ、医療の倫理、関係する制度や法律、これから学ぶ行為の安全な実施、救急蘇生、感染予防、バイタルチェックなどの総論	54
	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	・福祉用具の役割 ・福祉用具相談員の役割と職業倫理	2
	介護保険制度等に関する基礎知識	・介護保険制度等の考え方 ・介護サービスにおける視点	4
	高齢者と介護・医療に関する基礎知識	・からだところの理解 ・リハビリテーション ・高齢者の日常生活の理解 ・介護技術 ・住環境と住宅改修	16
	個別の福祉用具に関する知識・技術	・福祉用具の特徴 ・福祉用具の活用	16
	福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識	・福祉用具供給の仕組み ・福祉用具貸与計画等の意義と活用	9
	福祉用具の利用の支援に関する総合演習	・福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	5
	振り返り	・振り返り ・修了評価試験(筆記1時間程度)	2
	安全衛生	・介護職員としての健康管理、感染症予防、腰痛予防及びリスクマネジメントについて	8
	就職支援	・キャリアコンサルティング・自己理解 ・キャリア・プランを踏まえた就職活動の進め方 ・応募書類の重要性 ・面接対策の重要性 ・ビジネスマナー ・オリエンテーション	42
実習事前講習	・介護現場実習に向けての心構え、記録の書き方、実習目標について	6	
実習事後講習	・介護現場実習後の振り返り、事例検討	6	
実 技	生活支援技術Ⅱ	・寝具の整え方・ベッドメイキング、衣服の脱着、排泄にまつわる介護、食事の介護等、多様な現場に対応できる技術の習得	33
	介護過程Ⅲ(演習・実技)	・アセスメント、個別援助計画を作成することができ、計画に沿った適切な支援の実践についての理解	54
	医療的ケア	・喀痰吸引・経管栄養シミュレータを使用し、基本手技を習得するとともに発生するリスクについての理解(一人1項目5回の演習が義務であり、時間数の制約ではない)	30
	パソコン操作	・パソコンを活用した報告書等の作成実習、デジタルリテラシー	10
	介護現場実習	・施設・通所・訪問介護実習	54
総 訓 練 時 間			718

※ 諸事情により、訓練期間を変更または訓練を中止する場合があります。また、カリキュラムの時間等は変更になる場合があります。